

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分
感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年										2025年									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月 ~3日	8月 ~10日	8月 ~17日	8月 ~24日
カンピロバクター	25	57	50	39	41	50	50	37	36	18	14	38	22	23	36	38	10	9	2 (3)	10
病原性大腸菌	92	79	76	83	70	86	49	46	33	23	107	90	91	71	93	78	28	24	4 (9)	16
腸管出血性大腸菌	0	1	2	1	6	2	0	1	1	0	0	1	0	2	3	3	0	0	1	1
サルモネラ	7	5	8	12	29	13	12	7	6	1	3	8	3	6	11	12	2	0	1 (2)	6
黄色ブドウ球菌 MSSA	4	12	21	11	17	24	5	6	4	14	15	6	8	9	16	8	5	6	1	7
黄色ブドウ球菌 MRSA	6	3	10	8	6	21	12	8	13	9	9	14	13	9	11	5	2	4	0	5
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	3	1	5	1	2	0	1	0	3	2	1	1	1	2	0	0	1	0
ロタウイルス	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	3	4	4	2	1	1	0	0	0	0
ノロウイルス	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0	11	37	10	6	2	2	0	0	0	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)
感染症週報

令和7年第34週(8月18日~8月24日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	11	結核	11	1	1	1	2	6		
三類	4	腸管出血性大腸菌感染症	4		1			3		
四類	5	E型肝炎	1					1		
		A型肝炎	1					1		
		デング熱	1			1				
		日本紅斑熱	1						1	
		レジオネラ症	1	1						
五類	141	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1						1	
		梅毒	9		1			7		1
		百日咳	131	7	67	9	2	35	4	7

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町
北 … 三次市、庄原市● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 7年34週(8月18日～8月24日)

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり6.14人の報告がありました。県内では、第33週に呉市保健所管内で医療ひっ迫注意報開始基準値(定点当たり8人)以上となったため、8月21日、県内全域に「新型コロナ医療ひっ迫注意報」が発令されました。手洗いの励行、咳エチケット、換気などの感染予防対策を行いましょう。また、発熱等の体調不良時は不要不急の外出を控えましょう。

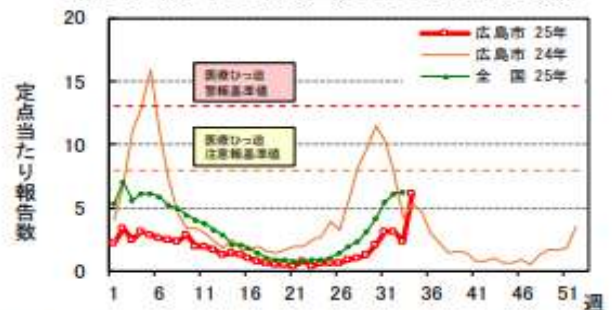
2 百日咳

35件の報告があり、多い状況です。

3 腸管出血性大腸菌感染症

3件の報告があり、今年の累計は23件となりました。感染予防のため、加熱が必要な食品は十分に加熱し、生野菜は十分に洗いましょう。また、調理の前、食事の前、トイレの後などは、せっけんと流水で手を洗いましょう。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	1629	46.54			小児科	突発性発しん	6	0.27	0.29	
	インフルエンザ	1	0.03	0.32			ヘルパンギーナ	7	0.32	0.62	
	新型コロナ(COVID-19)	215	6.14				流行性耳下腺炎	-	-	0.04	
小児科	RSウイルス感染症	15	0.68	0.99		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	5	0.23	0.20			流行性角結膜炎	8	1.00	0.30	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	33	1.50	0.66		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	94	4.27	2.22			無菌性髄膜炎	2	0.33	-	
	水痘	8	0.36	0.13			マイコプラズマ肺炎	9	1.50	0.74	
	手足口病	5	0.23	1.57			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	71	3.23	-			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ↘ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇐ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI) 定点数(内科・小児科)	35
小児科 定点数	22
眼科 定点数	8
基幹 定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

前週(第33週)は、お盆の休診により、報告数が影響を受けている可能性があり、今週(第34週)と適正な比較ができないことから、発生記号は表示していません。

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	6	85	30歳代・1人、70歳代・2人、70歳代・市外・1人、80歳代・1人、90歳代・市外・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	3	23	10歳代・O136・1人、10歳代・O血清群不明・1人、60歳代・O157・1人
4	E型肝炎	1	3	70歳代
4	A型肝炎	1	4	70歳代・市外
5	梅毒	7	95	10歳代・1人、20歳代・3人、40歳代・2人、50歳代・1人
5	百日咳	35	805	10歳未満・12人、10歳代・15人、20歳代・2人、30歳代・1人、40歳代・1人、50歳代・2人、60歳代・2人